

二〇一八年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

各自が専攻する領域の問題を解答しなさい。

問題は、

「日本演劇」

(2～5頁)

「西洋演劇」

(6～7頁)

「舞踊学」

(8頁)

「映画学」

(9～11頁)

の四領域である。

二〇一八年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

日本演劇

(日本演劇 1 / 4)

問題1または問題2のいずれかを選び、それぞれの設問に答えなさい。

問題1 以下のA・B・Cの設問すべてに答えなさい。

A 次の人物の演劇史上の功績・位置づけについて、簡潔に紹介しなさい。

- ① 道阿弥
- ② 観世元雅
- ③ 宇治加賀掾
- ④ 紀海音
- ⑤ 近松半二
- ⑥ 初代並木五瓶
- ⑦ 三代目中村歌右衛門
- ⑧ 九代目市川団十郎
- ⑨ 喜多村緑郎
- ⑩ 杉村春子

二〇一八年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

日本演劇

(日本演劇2/4)

問題1 (つづき)

B 掲出の文を読んで、以下の問いに答えなさい。

老人

老人の物まね、此道の奥義なり。能の位、やがてよそ目にあらはるゝ事なれば、是、第一の大事也。

およそ、能をよき程極めたる①為手も、老たる姿は得ぬ人多し。たとへば、木樵・汐汲などの態物などの翁形をし寄せぬれば、やがて上手と申事、これあやまりたる批判なり。冠・直衣、烏帽子・狩衣の老人の姿、②得たらむ人ならでは似合ふべからず。稽古の功入て、位上らでは似合ふべからず。

③又、花なくば面白き所あるまじ。およそ、老人の立振舞、老いぬればとて、腰・膝をかどめ、身をつむれば、花失せて、古様に見ゆるなり。さる程に、面白き所稀なり。たゞ、大かた、いかにもくそゝろかで、しとやかに立ち振舞ふべし。

ことさら、老人に舞がゝり、無上の大事なり。花はありて年青と見ゆるゝ公案、くはしく習ふべし。たゞ、老木に花の咲かんがごとし。

④直面

これ又大事也。およそ、もとより俗の身なれば、易かりぬべき事なれども、ふしぎに、能の位上らなば、直面は見られぬ物也。

まづ、これは仮令、その物くによりて学ばん事、是非なし。⑤面色をば似すべき道理もなきを、常の顔に変へて、顔気色をつくる事あり。さらに見られぬものなり。振舞・風情をばそのものに似すべし。顔気色をば、いかにもく己なりに。つくろはで直に持つべし。

設問1 この資料の書名と著者名を記しなさい。

設問2 同じ著者の著作を、5つ記しなさい。

設問3 傍線部①の読みと意味を記しなさい。

設問4 傍線部②の意味を記しなさい。

設問5 傍線部③の意味を、言葉を補って、詳しく説明しなさい。

設問6 傍線部④の読みと意味を記しなさい。

設問7 傍線部⑤の意味を、説明しなさい。

二〇一八年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

日本演劇

(日本演劇3/4)

問題1 (つづき)

C 次の作品について、設問に答えなさい。(節章等は省略し、適宜に漢字を宛てたところがある)。

門内より声高々。御用あらば表へ回れ。ここは裏門。なるほど裏門、合点。表御門は家中の大ぜい早馬にて寄りつかれず。喧嘩の様子はなんとく。喧嘩の次第、相済んだ。出頭の師直様へ慮外いたせし科によつて。塩谷判官は閉門仰せつけられ。網乗物にてたつた今帰られし、と聞くより、ハア南無三宝、お屋敷へと、走りかゝつて、イヤくく。閉門ならば館へはなほ帰られし、と行きつ。戻りつ。思案最中。腰元お軽道にてはぐれ。ヤア勘平殿。様子は残らず聞きました。こりやなんとせう。どうせう。と取りつき。嘆くを。取つて突きのけ。エ、めろくくと吠えづら。コリヤ勘平が武士はすたつたわやい。もうこれまでと、刀の柄。コレ待つて下され、こりやうろたへてか、勘平殿。オ、うろたへた。これがうろたへずにぬられうか。主人一生懸命の場にもあり合さず、あまつさへ、囚人同然の網乗物、御屋敷は閉門、その家来は色にふけり、御供にはづれしと、人中へ、両腰差して出られうか。ここを放せ、マ、マ、マ、待つて下さんせ。もつともちや、道理ぢやが、そのうろたへ武士には誰がした。みんなわしが心から、死ぬる道なら、お前より私が先へ死なねばならぬ。今お前が死んだらば、誰が侍ぢやと褒めまする。ここをとつくりと聞き分けて、私が親里へひとまづ来て下さんせ。父様も母様も、在所でこそあれ頼もしい人。もうかうなつた因果ぢやと思つて、女房の言ふことも、聞いて下され、勘平殿、とわつとばかりに。泣きしづむ。さうぢや、もつとも。そちは新参なれば、委細のことはえ知るまい。お家の執権大星由良之助殿。いまだ本国より帰られず。帰国を待つてお詫びせん。サア一時なりとも急がんと、身こしらへするところへ。鷺坂伴内、家来引き連れ、駆け出で。

設問1 この作品と作者の名前を挙げて、知るところを述べなさい。

設問2 掲出部分は、どのような場面か、前後の経緯を含めて詳しく説明しなさい。

設問3 この作品の掲出部分をよくむ場面について、文楽および歌舞伎での上演との関係について詳しく述べなさい。

二〇一八年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題
【修士課程】 専門科目 演劇映像学 コース ※解答は別紙(縦・横書)

日本演劇

(日本演劇4/4)

問題2 次の資料は『大和守日記』の一節である。これについて設問1～5に答えなさい。

一、寛文元年極月十一日の日付にて越前屋喜左衛門所より近習……申越堺丁様子の覚

△当月より古伝内座われ、役者大勢取のき、^①新芝居狂言つくし取立申候、役者覚

いにしへ座より古兵衛 同座よりば、善左衛門 同かいて六郎右衛門

とうけ同座助右衛門 同女かた浅之丞 小うた清兵衛

同 うた伝左衛門 同 うた十右衛門 はやし八兵衛

はやし八郎右衛門 若衆方類之助 同かもん (これは様子にて引込居申候)

あけや弥右衛門

勘三郎座より、とうけ孫八郎 同孫八弟子 同若衆方内蔵助

此外二三人

②右之通取立霜月四日より芝居仕候処ニ、古伝内勘三郎二仕負、当正月よりハ難仕候。乍去何とそと心かけ申候よし

△勘三郎残りし役者の内に

上方より下り^③玉川千之丞 女かた名人 うつくしき事筆にも不及、

其外とうけ勘兵衛、いくしまや利兵衛、若衆方桜田門弥下り 上々二候

(『近世初期国劇の研究』による)

設問1 傍線部①はどのようなことを意味するのか、「狂言つくし」に留意して説明しなさい。

設問2 傍線部②について、一部に送り仮名を加えて漢字かな混じり文に改め、意味を述べなさい。

設問3 傍線部③の役者について、知るところを述べなさい。

設問4 右に記された役者の役柄について、「女かた」以外の三つ以上を取り上げて、その役柄の概要を記し、この時期の歌舞伎の役柄分化の状況について説明しなさい。

設問5 寛文元年のおよその西暦年代を示し、この時期の歌舞伎の演劇史的状况について述べなさい。

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙（横書）

西洋演劇（問題用紙全2枚、全5問）

I. 以下に示す人物のなかから5人を選び、それぞれの人物が活動した時期（世紀）、地域（国名ないし地方名）を記しなさい。
また演劇史においてその人物が持つ意味を簡潔に述べなさい（各5行程度）。

- 1) カルロ・ゴツツイ
- 2) セネカ
- 3) アントン・チェーホフ
- 4) ペリクレス
- 5) トマス・ベルンハルト
- 6) クリストファー・マーロウ
- 7) ヴィクトル・ユゴー
- 8) ロベール・ルパージュ

II. 以下に示す語のなかから5つを選び、それぞれの語が演劇にとって意味する内容を簡潔に説明しなさい（各5行程度）。

- 1) アマチュア演劇
- 2) 国民国家
- 3) 自由劇場運動
- 4) シュトゥルム・ウント・ドラング
- 5) 清教徒
- 6) 聖史劇
- 7) デイオニュシア祭
- 8) ドキュメンタリー演劇

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

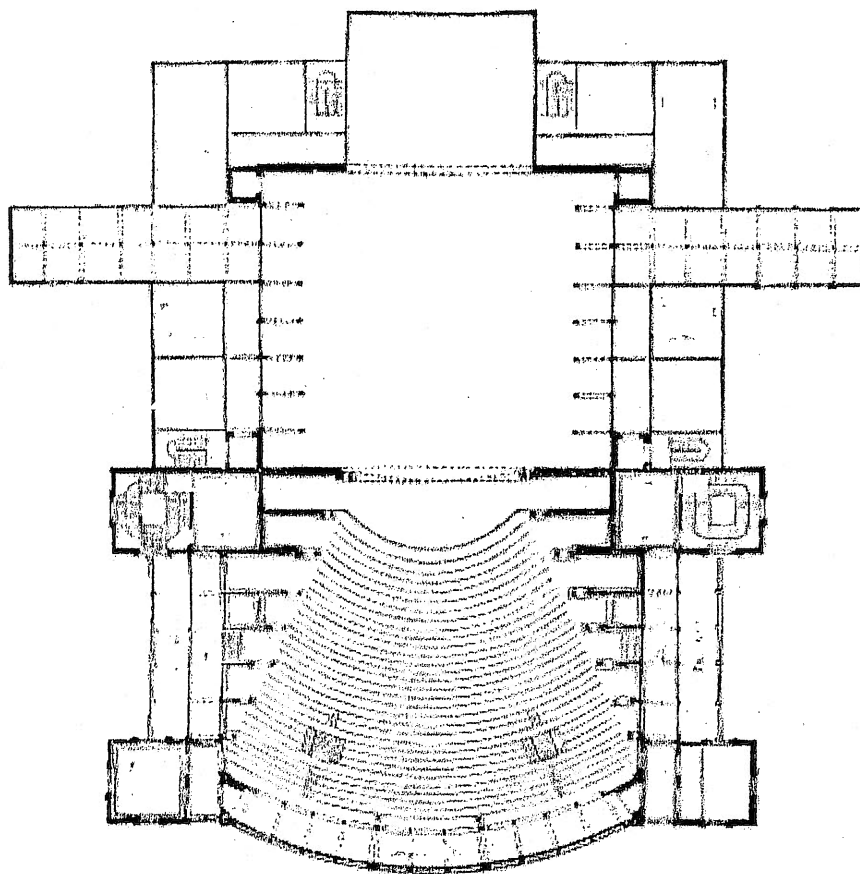
専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙（横書）

III. 以下に掲げるのは、バイロイト祝祭劇場の平面図です。これを見て、以下の問いに答えなさい。



1) バイロイト祝祭劇場について知っていることを記しなさい（箇条書きでよい、行数自由）。

2) 一般的なイタリア式の劇場とバイロイト祝祭劇場との相違点と共通点を記しなさい（箇条書きでよい、行数自由）。

IV. 演劇における登場人物はいかなる存在だといえるだろうか。具体例を挙げながら論じなさい（行数自由）。

V. 表現の自由に対して課された制約は演劇にとって何を意味するだろうか。具体例を挙げながら論じなさい（行数自由）。

（以下余白）

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学コース

※解答は別紙（横書）

舞踊学（問題用紙 全1枚）

問1) 次の用語の中から3つ選び、詳しく解説しなさい。

- (1) ballet blanc
- (2) élévation
- (3) pas de deux
- (4) CND (le Centre national de la danse)
- (5) Judson Church
- (6) Labanotation

問2) 次の人物の中から3人選び、詳しく解説しなさい。

- (1) Jean-Baptiste Lully
- (2) Filippo Taglioni
- (3) Лев Иванов (Lev Ivanov)
- (4) Loie (Loïe) Fuller
- (5) Doris Humphrey
- (6) 笠井勲

問3) 次の作品の中から3つ選び、詳しく解説しなさい。

- (1) La fille mal gardée
- (2) Sylvia
- (3) Раймонда (Raymonda)
- (4) Le sacre du printemps
- (5) Lamentation
- (6) Einstein on the Beach

問4) ロマンティック・バレエが19世紀半ばに衰退した原因について説明しなさい。

問5) 日本のバレエ界が今後どのようなようになっていくか、予想しなさい。

問6) 一番好きな舞踊作品をひとつ挙げ、その魅力を述べなさい。

(以下余白)

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙（横・縦書）

【映画学】

映画学の問題は問1から問3までである。3題すべてに答えること。

[映画学 1/3]

【問1】

下記の7つの事項の中から4つを選び、その概要を簡潔に説明しなさい（各5行程度で）。

- ① フォトジェニー
- ② アスタ・ニールセン
- ③ 『巴里のアメリカ人』
- ④ 牧野省三
- ⑤ 映画記号学
- ⑥ 日活
- ⑦ テクニカラー

【問2】

次の英文を和訳しなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(V. F. Perkins, *Film as Film : Understanding and Judging Movies*, Harmondsworth, Middlesex, England, Penguin Books, 1972, p. 72.)

【修士課程】 専門科目 演劇映像学 コース ※解答は別紙（横・縦書）

[映画学 2/3]

[問3]

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。なお、文中の『遠目にて』とは *To the Distant Observer* に著者が与えた訳題である。

ノエル・バーチ⁽¹⁾は『遠目にて』（一九七九）において日本映画の全体を古典的ハリウッドが定立した映画文法⁽²⁾に対立し、ひいては西洋の表象体系に異を立てる他者として論じている。日本人は和歌の枕詞や絵巻物のように、西洋人とはまったく異なった時空の表象を文化的伝統として洗練させてきた。日本映画はまさにその延長上にあり、この伝統から少なからぬ修辭的手法を得てきたと、バーチは説く。その結果彼がもっとも高く評価するのは、小津や溝口が戦時中に監督した『父ありき』や『元禄忠臣蔵』といったフィルムとなる。というのもその時期には欧米の映画が劇場から遠ざけられ、日本の映画人は純粋に日本的伝統と様式のもとに映画を撮らざるをえない状況におかれていたためである。

この論理に従ってバーチは黒澤明を過小評価する。黒澤明が監督として積極的に活躍を開始した敗戦後の日本とは、巷にアメリカ文化が氾濫し、ハリウッド映画が大手を振って公開されている環境であった。黒澤明がもっとも影響を受けたのはフォードに代表される西部劇であり、その演出にも編集にもいささかも日本的な純粋性は見受けられない。これまで西欧で黒澤映画が高く評価されてきたのは、もっぱら彼が西欧の文化と映画に深く親しみ、それを自作のうちに取り込んできたことが原因である。黒澤明に関しては、ひとたび戦時下になされた日本映画の様式的完成が凋落した時期に出現したハイブリッド的監督と見なすべきだというのが、バーチの批判的立場である。ちなみに彼はデリダに代表されるポスト構造主義とマルクス主義に強く影響されており、その立場から西欧の形而上学と表象史を批判することに重きを置いている。

これは実に興味深い意見である。まさか戦時下の日本映画が褒められるとは、日本の映画研究者も予想もしていなかったに違いない。おそらくバーチは正々堂々と黒澤明の日本表象性に疑義を呈した唯一の映画学者として記憶されることだろう。だが私見するに、バーチは日本映画の純粋性を過度に理想化するあまりに、それが当初から携えてきたハイブリディティ（混淆享受）の側面を蔑ろにしているといった印象が強い。彼の論理に従うならば、日本映画はそれ自体としては価値をもたず、西欧の表象体系に異化効果をもたらす他者としてのみ存在理由を認められるにすぎないということになる。これは日本映画を礼賛しているようでいて、実は裏返しに古典的ハリウッド映画を肯定するだけで終るのではないか。

黒澤明という芸術家の生涯を眺めていてわかるのは、彼が日本人として生を受け、歌舞伎の演目から能楽のささいな仕種までに深い知識と洞察力を抱いているとともに、シェイクスピアとドストエフスキーの解釈をめぐって、当時のいかなる専門家よりも深いヴィジョンを示してみせたという事実である。彼は若くして左翼の芸術理論に親しみゴーリキーを愛読するとともに、山本周五郎の描いた街の光景や人物にも深い親近感を寄せることもできる人物でもあった。いうなれば二〇世紀の日本にあって文化的混淆性のさなかに生き、しかも西

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙（横・縦書）

[映画学 3/3]

欧の文学作品をめぐって独自に最新の解釈を披露しえた芸術家であったといえる。こうした巨大な存在を前にしたとき、はたしてバーチの批判はどれほどの説得力を持ちうるだろうか。

（四方田犬彦『『七人の侍』と現代——黒澤明再考』岩波書店、2010年、205～208頁。）

設問1 下線部(1)の映画研究者には日本映画研究以外にもさまざまな業績がある。そのうち、重要と思われる一つについて簡潔に説明しなさい。（3行程度で）

設問2 下線部(2)は、ここでは具体的にどのような特徴を指していると考えられるか。簡潔に説明しなさい。（7行程度で）

設問3 この文章の内容を踏まえて、今日、非ハリウッド圏の映画史を記述することの課題と展望について自身の考えを述べなさい。（20行程度で）

（以下余白）

Lined area for writing.

(次頁へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

——ここから記入すること——

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

——ここから記入すること——

演劇映像学
日本演劇

總 点

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(次頁へ続く)

—ここから記入すること—

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——